

小布施・安曇野の図書館へ視察に行ってきました。



今回参加して下さった19名のみなさんです。

小布施のまちとしょテラソの館内に入ると大きなシンボルツリーのような3本の柱があります。天井の素材は杉の間伐材を使い、ほのかに杉のかおりがしていました。まるで森の中に本が並べてある感じでした。

また本棚やテーブルなどの備品は白で統一され、外から入ってくる自然光がそれに反射して館全体がとても明るかったです。

当日は、花井館長からオープン前のお話を聞くことができました。お話の中では町の人との話し合い、ご自身の掲げる理念など、とても参考になる内容でした。



眺めのいい窓辺は奥まで続く閲覧席です。

この日はお天気がよかったので自然光がとても明るく感じられました。

こちらは視察の3日前にオープンしたばかりの安曇野市中央図書館です。

とにかくひろい建物で、ブラウジングから見える外の景色を楽しみながらゆっくり過ごせそうです。

ブラウジングとは？

本や雑誌などを閲覧する場所のことです。



安曇野市中央図書館のもう一つの目玉は「県内初のICタグ導入をした図書館」であることです。それまでは一日平均100人～200人の利用者がオープン初日の来館者はなんと2000人弱というほど混乱したそうです。導入したシステムがフル稼働した一日だったのでしょね。



眺めのよい閲覧コーナー。

ずらりと並ぶ書架。ところどころに小さな椅子が置いてあり、本を選ぶのに便利です。

今回視察した館はそれぞれに特徴があり、それぞれの特色がよく出ていたように思います。新しい小諸の図書館がオープンしたら、みんなに親しまれ視察にも来てもらえるような図書館にしていきたいと思います。

